



アメリカ、ニューヨーク。

1929年、ブルックリン地区の、南の終わり。

大西洋を望むコニーアイランド。

その年、アストロランドは誕生した。





入場料はなく、アトラクションごとに
チケット売り場がある。海岸線に面した遊園地。

そして、海岸線に面した無法地帯。。



でも、いい感じの無法地帯。





その無法地帯は、もしかしたら、
地上に現れた “夢” なのかもしれない。



そんな素敵な夢が、ここに誕生した、
たぶんそうだ。



しかし、その夢は



もうすぐ蒸発する。



消えてなくなる



2008年の秋には、アストロランドは存在しない。

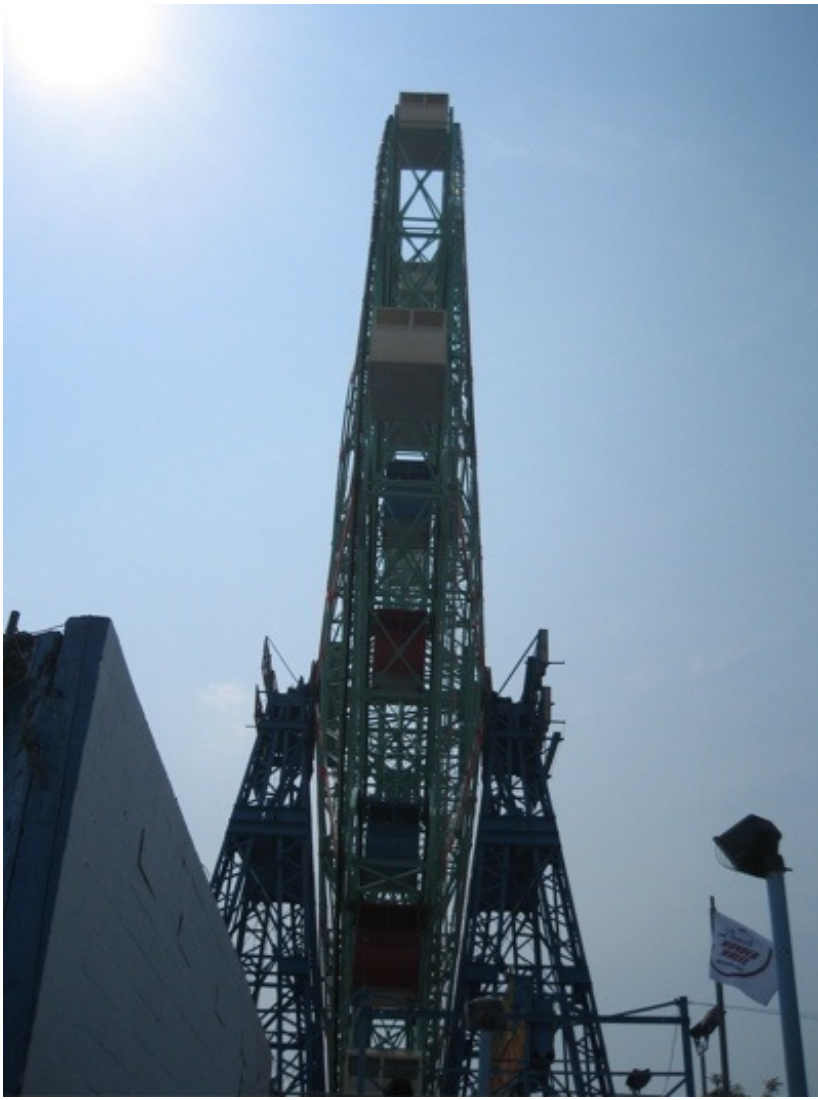


見てくれ。

これが、アストロランドだ。

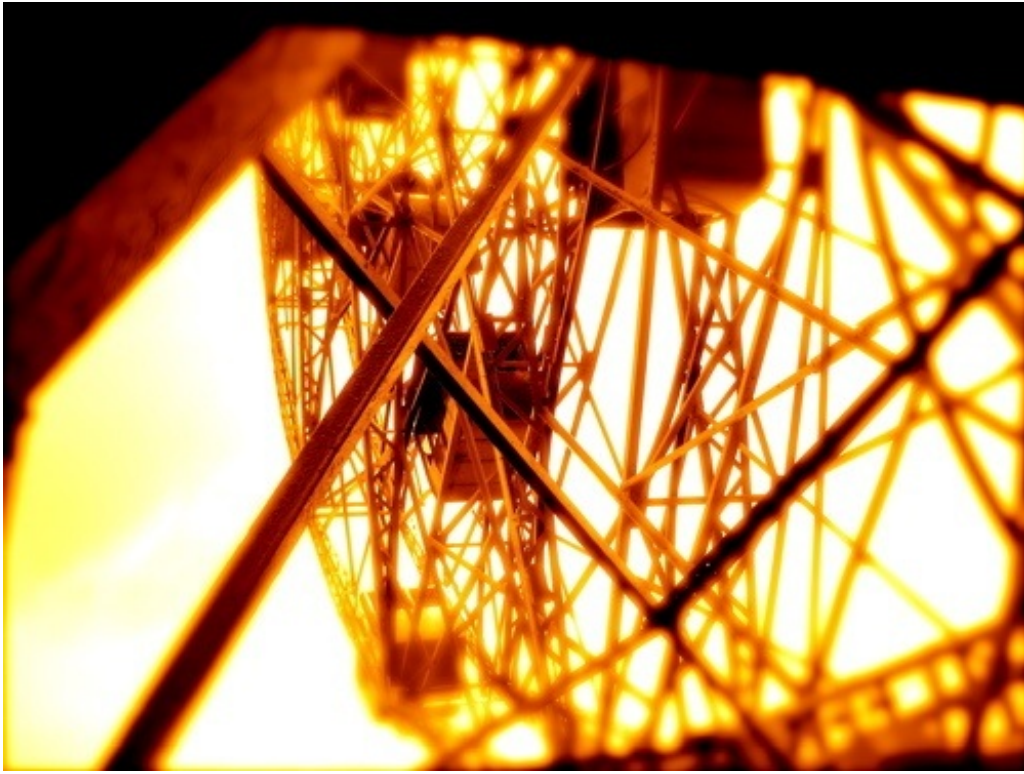


太陽がいっぱいなんだ。



まぶしいんだ。





ここにはウロウロしているヤツが、たくさんいる。



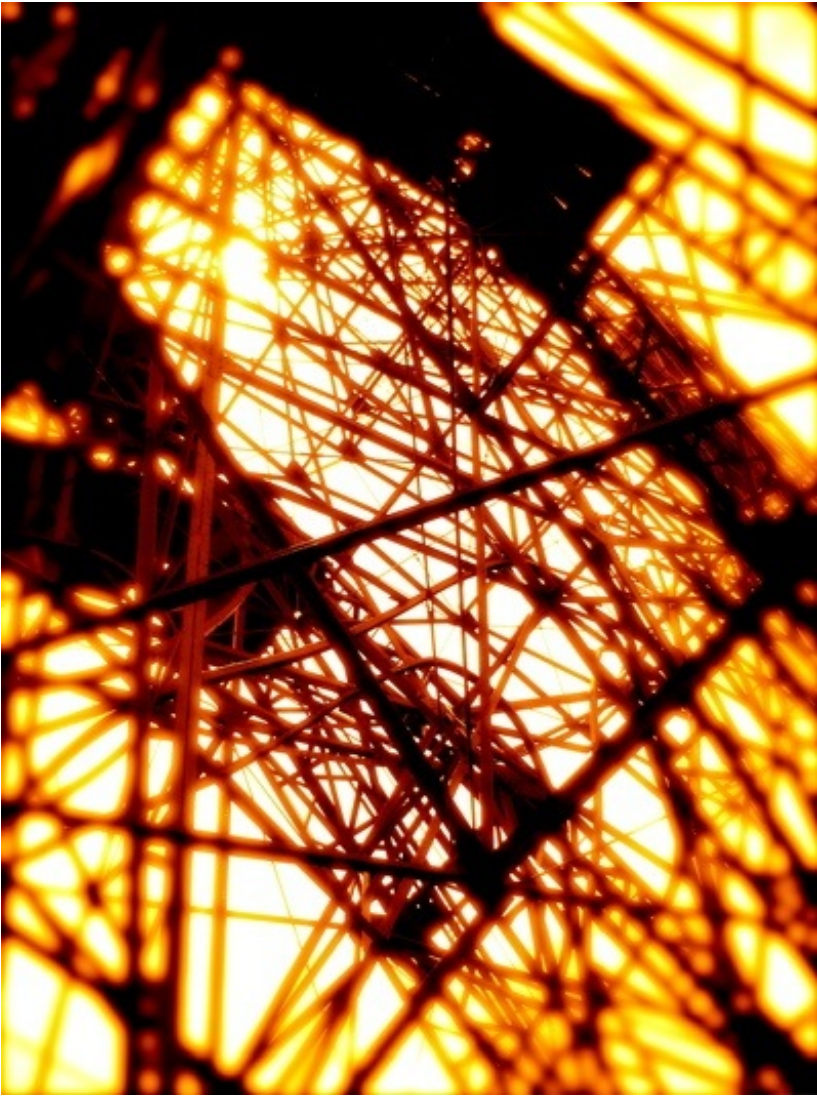
働いてるヤツは、みーんな、ムツとしてて、失礼だ。



でも、まぶしいんだ。



なんか、まったりなんだ。



まぶしいし、なんか、、。



ここでは、何もかもが、、、。

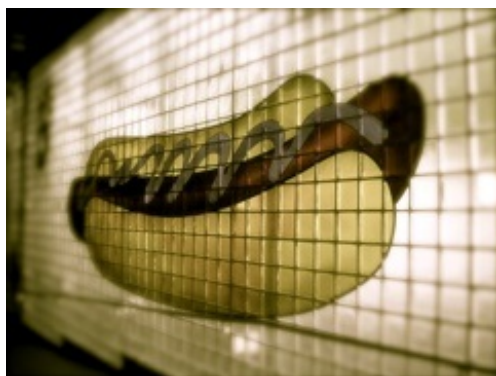


どうでもいい。そんな気がする。

あ～、明確な説明は不可能だ。アストロランドは説明できない。



そして、、もうすぐ、この夢が消える。



長い間ここに住んでいる、”へび女”も消えるんだ。



さてさて、

ボクは ”コニーアイランド” 大好きなんです。

年間通してよく来ます。冬はビーチで ”凧上げ” です。

夏はアストロランドで ”サイクロン” という木製のジェットコースターに乗ります。

このコースター、ボロいせいか、年々揺れが激しくなっている気がします。

なんか、生命の危機を感じながら乗っている感じなのです。

ウワーオッ！！です。



アストロランド。

ここは屋台の集まった市場。そんな感じ。

来れば、誰にでもそれが分かります。



妖怪も沢山います。

一目見たければ、格安で拝見できます。



あちらこちら、でふざけた悲鳴が聞こえてきます。



妖怪はほんとうに居るのに、、、、。





よく見て。アストロランド。



キミは、すでに、見られているよ。

じゃあ、言おうか。

なぜ、このアストロランドが必要なのか。もちろん夢さ。
地上に舞い降りた素敵なお夢なのさ。大事だし、大切さ。
でも、それだけではない。

1929年に誕生したここは、今、2007年を迎えたんだ。
ここに来てみろよ。よく見てみろよ。

その間、ここで生きてきた人間や妖怪がウジャウジャいるんだ。
夢の中のクセに、現実にも無理矢理生きているヤツラが、
まったりと、そこに居るってこと。

コレって、おもしろいとおもわないのかなあ`??



ビーチ沿いの遊園地で生活している
妖怪たち、、、。



妖怪たちはこれから何処へ行けば良いのだろうか、、、。
 人間はいいとしても、、、。
 妖怪たちの生きる場所は、、、。



このホットドック屋は、残るらしいが
 妖怪は消える、、、。、、、消えるんだ。

ねえ、カウボーイ、

教えてくれよ。

キミは、いつもそこに立って空を眺めているじゃない。

キミのように、アストロランドにはさ、

暑い中、ただ立っている人が何人かいるよね？

君たちも、、、もしかして、、、。

妖怪なの？





ここの妖怪たちは結構早起きで、真夏の蒸し暑い日も、狭いガラス部屋の中で、じっとしている。



汗をかく妖怪。



ペットボトルの水を飲む妖怪。

、、、妖怪も大変。



なのに呪われない人間たち。



教えてくれよ。



ねえ、カウボーイ。

将来ここ、アストロランドは、

室内アミューズメントパークの建築現場になる。

なので、破壊される前に上から見てみましょう。



アストロタワー、一回3ドル。

マド開かず、エアコンなし。 あっち～～、、。





ほら、



見えたでしょ？

人間曰く、妖怪は、この世のものではない。

妖怪曰く、人間は、この世だけのもの。



人間曰く、
楽しさを下さい。
幸せを下さい。





妖怪曰く、

楽しさをどうぞ！

幸せになりましたか？



人間曰く、

無駄と得。



妖怪曰く、



驚きと発見。



ボクは妖怪と別れたくない。



アストロランドが消えてなくなるのは、
やっぱりイヤだ。